

家具転倒防止対策及びガラス飛散対策

室内の安全対策をしましょう

地震で家具が転倒すると出入口をふさがれたり、室内に物が散乱して避難の妨げになったりするだけでなく、下敷きになって命を落とすことにもなります。地震から身を守るには、家具の固定や配置の工夫など室中の安全対策が重要です。

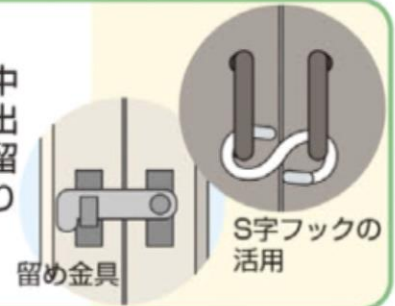
家具

L字金具やつっぱり棒などで家具が転倒しないように固定する。



戸棚・扉

扉が開いて中の食器が飛び出ないように、留め金具等を取りつける。



窓ガラス

ガラスが割れた場合の安全対策として、飛散防止フィルムを貼る。



耐震マット

粘着性やクッション性がある耐震マットで家電や家具を固定する。



ブレーカー

停電が復旧する際の通電火災を防ぐため、感震ブレーカーを設置する。

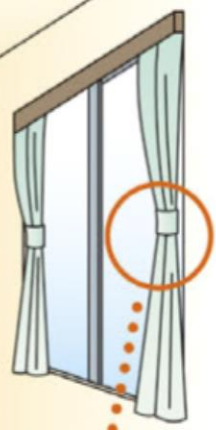
スリッパ

足のけがを防ぐため、身近に用意しておく。



防災カーテン

火災時の燃え広がりを防ぐため、防災処理を施したものにする。



ガラス飛散防止フィルムの貼り方



●必要なもの●

ガラス飛散防止フィルム カッター
ヘラ(フィルムに付属していることもあります)
霧吹き 中性洗剤
定規 ぞうきん

i まず、ガラスの汚れをとりましょう

200cc の水に中性洗剤を2〜3滴混ぜた水溶液をガラスにスプレーし、汚れを取っておきます

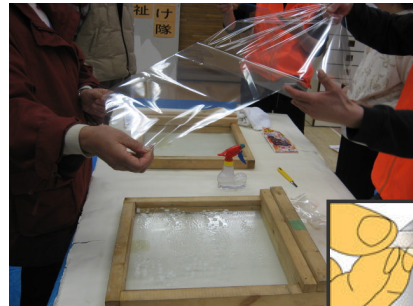
ii さっそく、フィルムを貼ってみましょう

①ガラス面にまんべんなく、水溶液をスプレーします。



②フィルムはガラス面より1〜2cm 大きめにカットします。

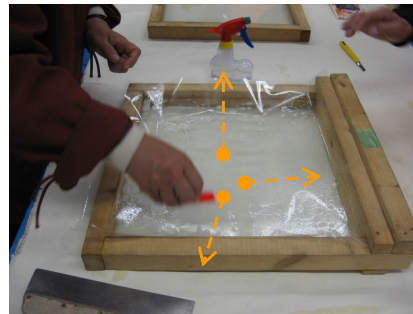
フィルムは保護フィルムとくっついていますが、剥がして接着面をガラスに貼ります。



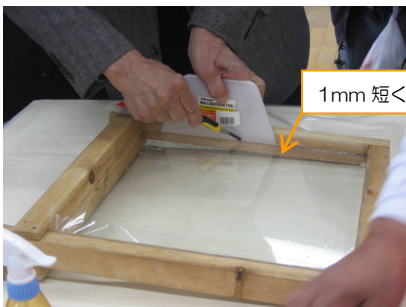
③貼ったフィルムの上に、まんべんなく水溶液(水 200cc に中性洗剤2〜3滴)をスプレーします。(ヘラでフィルムを傷付けない為)



④ヘラで中央から上下・左右に空気と水を押し出しながら、フィルムを貼りつけます。



⑤シートの余分な部分を切り落とします。
ポイントは、ガラスの縁よりフィルムを1mm程度短くカット!(剥がれにくくなります)



iii もし、剥がす場合は?

- ① 5cm間隔で、カッターで切れ目を入れ、フィルム面に中性洗剤と水を1:1の割合で作った水溶液を吹き付けます。
- ② その上に新聞紙をあてスプレーをし、30分後にゆっくりと剥がします。

(注意) 完成後、乾くまで1日程度かかるので、その間フィルムを動かさないようにします